令和８年度「しあわせ実感度」（主観的幸福度）に関する調査結果について

１．調査の目的・内容

① 県では、県民の主観的な幸福度を把握することを目的に、平成２４年度に「県民総幸福量」（AKH）の指標を構築し、令和５年度まで調査を継続して実施。
※平成24年度から令和5年度まで10回実施。平成28年度は熊本地震、令和2年度は豪雨災害等により中止

② 調査開始から１３年が経過し、近年の社会情勢の変化等を踏まえた主観的幸福度の把握を目的に、「県民総幸福量」の構成に所要の見直しを加えた上で、令和６年度に「しあわせ実感度」の指標を構築し、調査を実施（今回が３回目の調査）。

③ 調査の対象者や項目等は次のとおり。

調査対象	県内在住の１８歳以上の男女３，５００人（無作為抽出）
調査期間	令和８年（２０２６年）６月１２日～７月２４日（４３日間）
回答者数	１，５９８名（４５．７%）
項目	○ 直観的な幸福度（現在、幸福を感じているか） ○ しあわせ実感度の“４つの分類”を構成する各項目の満足度 ○ しあわせ実感度の“４つの分類”それぞれの重要度 ○ 回答者の属性（性別、年代、居住地、居住年数）

しあわせ実感度の概要

○ 「しあわせ実感度」は、県民の主観的幸福度を効果的な施策につなげることを目指して、熊本県が独自に作成した指標。

○ 主観的幸福度を構成する要素を「夢や希望を持てる基盤がある」等の４つに分類した上で、それぞれの分類ごとに４つの項目を掲げて、全体の体系を構築。

【４つの分類・分類ごとの項目】

（分類１）夢や希望を持てる基盤がある
項目 → ①家族・友人関係、②仕事関係、③教育環境、④子育て環境

（分類２）地域への誇りがある
項目 → ①自然環境、②歴史・伝統、③文化芸術・スポーツ、④地域社会・行政

（分類３）経済的なゆとり、心のゆとりがある
項目 → ①所得・消費、②余暇の充実、③住まい、④豊かな食

（分類４）健康や生活環境面で将来に不安がない
項目 → ①心身の健康、②生活環境の安全、③防災・治安、④交通基盤

○ その上で、県民アンケートで把握した各項目の満足度（県平均）と各分類の重要度（県平均）から、「しあわせ実感度」の全体値を算出（表１参照）。
※「しあわせ実感度」の算出方法については、図２参照

２．主なまとめ

（１）今年度のしあわせ実感度は「７０．２」であった。　※令和７年度：６８．５

≪表１：しあわせ実感度の算出≫

分類 ≪4≫	項目 ≪16≫	満足度 平均値	満足度 合計(①)	重要度 (②)	(①×②＝③)	しあわせ実感度 (③の合計÷2)
夢や希望を持てる基盤がある	家族・友人関係	4.3	14.3	3.00	42.9	70.2
	仕事関係	3.5				
	教育環境	3.3				
	子育て環境	3.2				
地域への誇りがある	自然環境	3.9	14.2	2.03	28.8	
	歴史・伝統	3.7				
	文化芸術・スポーツ	3.4				
	地域社会・行政	3.2				
経済的なゆとり、心のゆとりがある	所得・消費	3.1	14.0	2.70	37.8	
	余暇の充実	3.4				
	住まい	3.7				
	豊かな食	3.8				
健康や生活環境面で将来に不安がない	心身の健康	3.4	13.6	2.26	30.7	
	生活環境の安全	3.9				
	防災・治安	3.4				
	交通環境	2.9				

≪図２：しあわせ実感度の算出方法≫

各項目の満足度（5段階）の平均値を算出し、分類別に合算 ⇒①

→ 分類の重要度（全体を10とした場合にそれぞれいくつとなるか）の平均値を算出 ⇒②

→ 分類ごとに満足度（①）と重要度（②）を乗じる ⇒③

→ ③を合算 ⇒しあわせ実感度
※最高が200となるため、③を100に換算

（参考）調査における「満足度」と「重要度」の回答方法

① 満足度
・ ４つの分類の項目ごとに（合計16項目）、質問に対する評価を５段階で回答

例）【家族・友人関係】
家族や友人は、あなたを理解し、支えてくれていると感じていますか。
５点：感じている　４点：やや感じている　３点：どちらでもない
２点：どちらかと言えば感じていない　１点：感じていない

② 重要度
・ ４つの分類ごとに、重視する度合いを４分類合計で「10」となるように回答

例）分類①：３　＋　分類②：２　＋　分類③：３　＋　分類④：２　＝　10

（２）“４つの分類”の重要度・満足度について（１頁／表１参照）

○　“４つの分類”について、「重要度」の平均値は、以下の順となった。

○　このことから、４つの分類のうち、「家族・友人関係」や「仕事関係」等で構成される「夢や希望を持てる基盤がある」、また、「所得・消費」や「余暇の充実」等で構成される「経済的なゆとり、心のゆとりがある」といった部分が、主観的幸福度の重要な要素となっていることが把握できる。

①「夢や希望を持てる基盤がある」	(3.00)	(R7：2.91)
②「経済的なゆとり、心のゆとりがある」	(2.70)	(R7：2.72)
③「健康や生活環境面で将来に不安がない」	(2.26)	(R7：2.28)
④「地域への誇りがある」	(2.03)	(R7：2.09)

○　“４つの分類”について、「満足度」の数値（各分類の４項目の平均値の合計）は、以下の順となった。

○　このように、特に「家族・友人関係」や「仕事関係」で構成される「夢や希望を持てる基盤がある」について、満足度が比較的高い水準となっている。

①「夢や希望を持てる基盤がある」	(14.3)	(R7：14.1)
②「地域への誇りがある」	(14.2)	(R7：13.8)
③「経済的なゆとり、心のゆとりがある」	(14.0)	(R7：13.6)
④「健康や生活環境面で将来に不安がない」	(13.6)	(R7：13.2)

【県全体の平均値から見た総括】

○　上記（２）のとおり、県民アンケートの結果からは、主観的幸福度を構成する４つの分類のうち、「夢や希望を持てる基盤がある」や「経済的なゆとり、心のゆとりがある」の重要度が昨年に引き続き高い。また、満足度は、4つの分類のいずれも昨年度より上昇しており、このことがしあわせ実感度に影響していると考えられる。

○　そのため、「くまもと新時代共創基本方針」（R6.12月策定）の柱の「①こどもたちが笑顔で育つ熊本」、「②世界に開かれた活力あふれる熊本」を中心に、県における施策を更に進める必要がある。

（３）属性別のしあわせ実感度（クロス集計結果）について

①　年齢階層別　（図３参照）

○　しあわせ実感度は、県平均（70.2）に対し、10,20歳代が最も高く（73.3）、４０歳代が最も低くなった（68.7）。

○　10,20歳代の場合、４つの分類のうち「夢や希望を持てる基盤がある」の「重要度」が年齢階層別で最も高く、かつ、この「満足度」も年齢階層別で最も高いことなどが、しあわせ実感度の高さに結びついている。

○　一方、４０歳代の場合、４つの分類の重要度の順位付けは他の年齢階層と同じものの、全体的に満足度が低い傾向にあり、しあわせ実感度に影響している。

②　地域別　（図４参照）

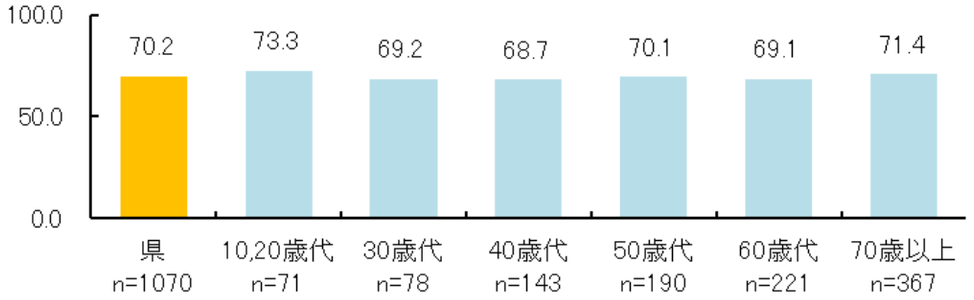
○　しあわせ実感度は、県平均（70.2）に対し、菊池地域が最も高く（74.3）、玉名地域が最も低くなった（66.0）。

○　熊本市、鹿本地域、菊池地域、上益城地域、球磨地域、八代地域、芦北地域で前年度より数値が上昇し、それ以外の地域では数値が低下した。

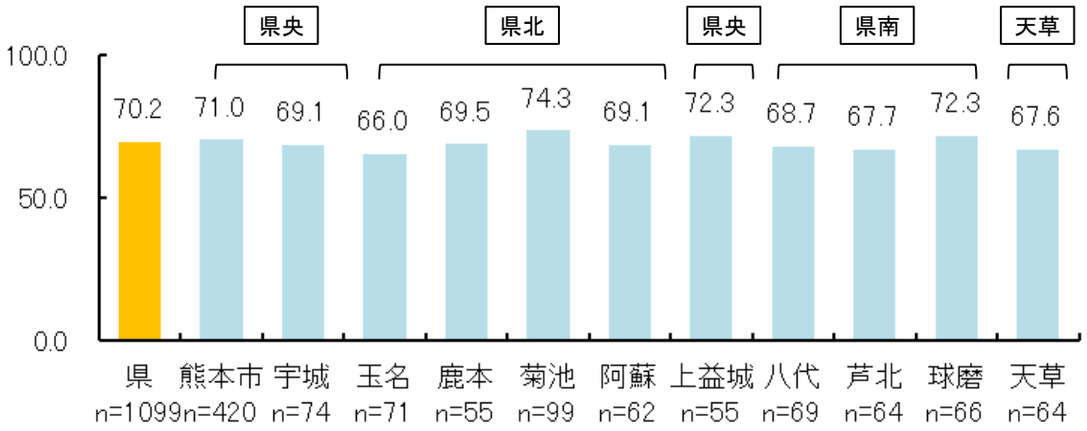
○　菊池地域については、４つの分類のうち「夢や希望を持てる基盤がある」、「経済的なゆとり、心のゆとりがある」や「健康や生活環境面で将来に不安がない」の「満足度」が地域別で最も高いことがしあわせ実感度の高さに結びついている。

○　一方、玉名地域については、４つの分類すべてについて「満足度」が地域別で最も低いことなどが、しあわせ実感度に影響している。

［図3：年齢階層別のしあわせ実感度］



［図4：地域別のしあわせ実感度］



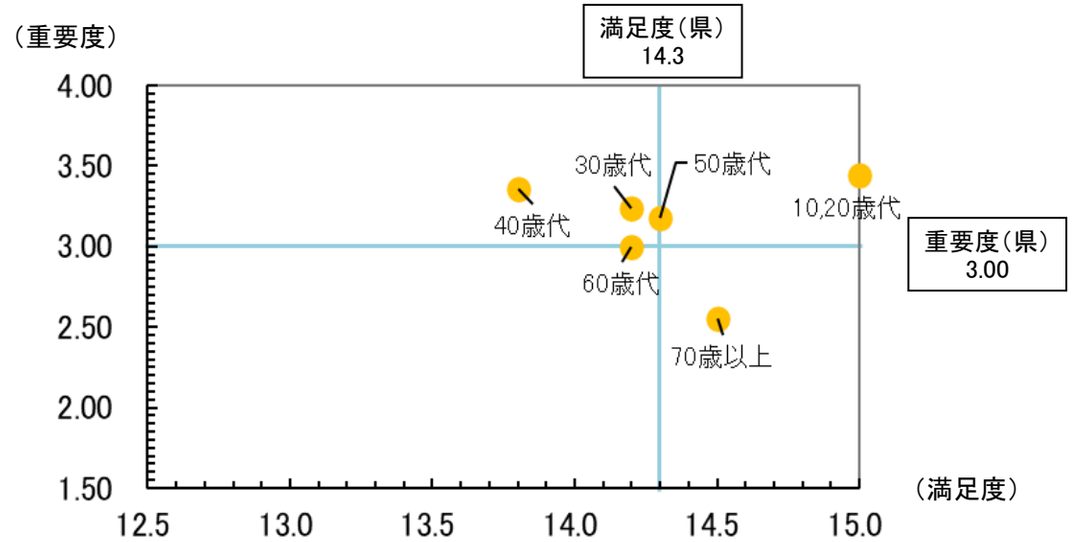
※ 図3及び図4ともに、n（有効回答数）は、ウエイトの有効回答数。
※ nが小さくなるほど、統計上の誤差が大きくなることに留意。
※10歳代ではnが少ないため20歳代と統合して表記。

３．満足度と重要度の関係（Ｒ８）／年齢階層別

※横軸：満足度／縦軸：重要度／青線：県全体値

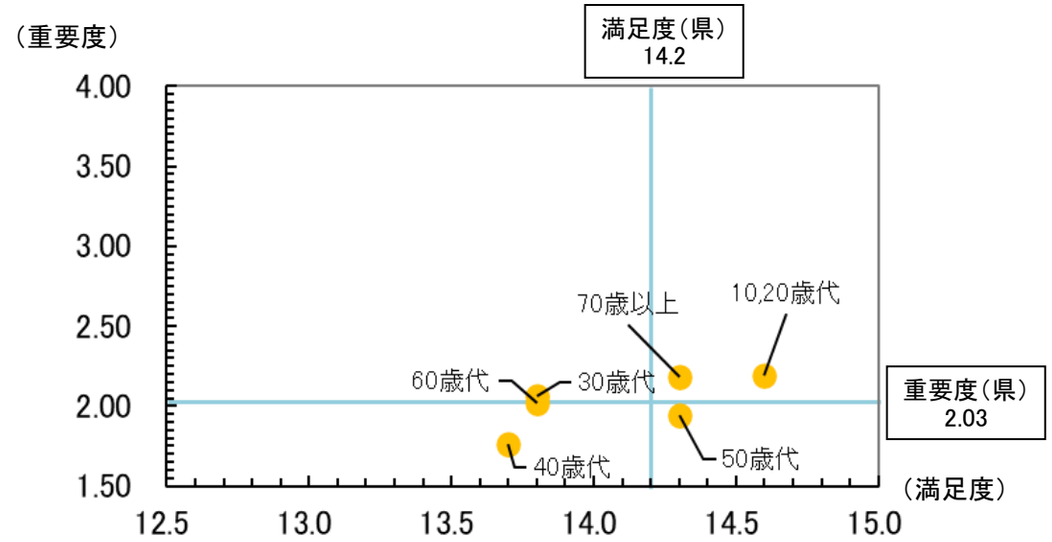
○　年齢階層別では、10,20歳代のしあわせ実感度が最も高く（73.3）、40歳代が最も低くなっている（68.7）
○　10,20歳代の「満足度」は高い傾向である一方、40歳代は他の年代に比べ「満足度」が低い傾向にある。
○　前年度同様、全体として30歳代～40歳代という、生産年齢人口（15歳～64歳）の中心的世代の「満足度」が低い傾向にある。県においても、４つの分類のうち「重要度」の高い、「夢や希望を持てる基盤がある」「経済的なゆとり、心のゆとりがある」を構成する項目の「満足度」向上を意識した施策展開が重要と考えられる。

＜夢や希望を持てる基盤がある＞



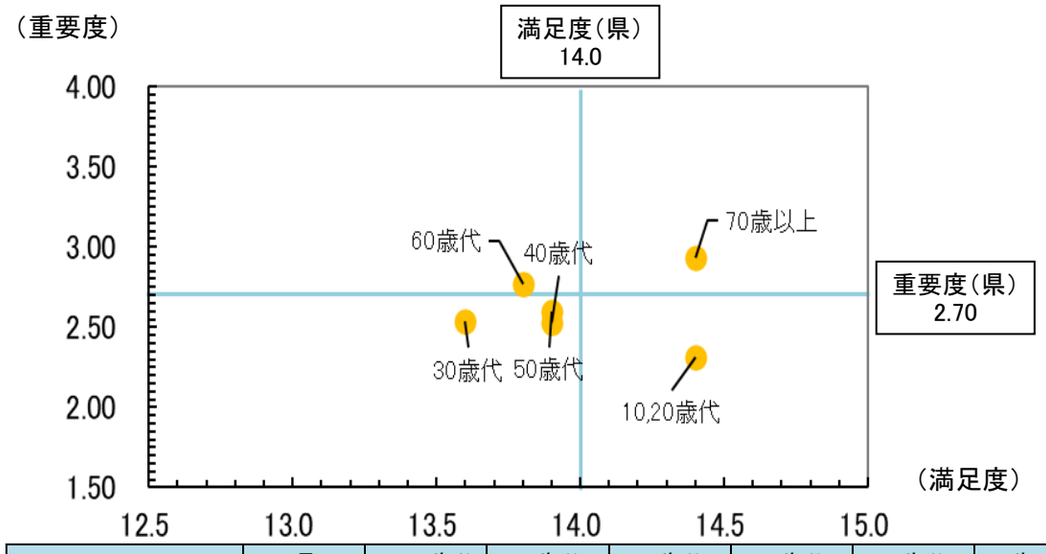
	県	10,20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	14.3	15.0	14.2	13.8	14.3	14.2	14.5
重要度	3.00	3.44	3.24	3.36	3.18	3.00	2.55

＜地域への誇りがある＞



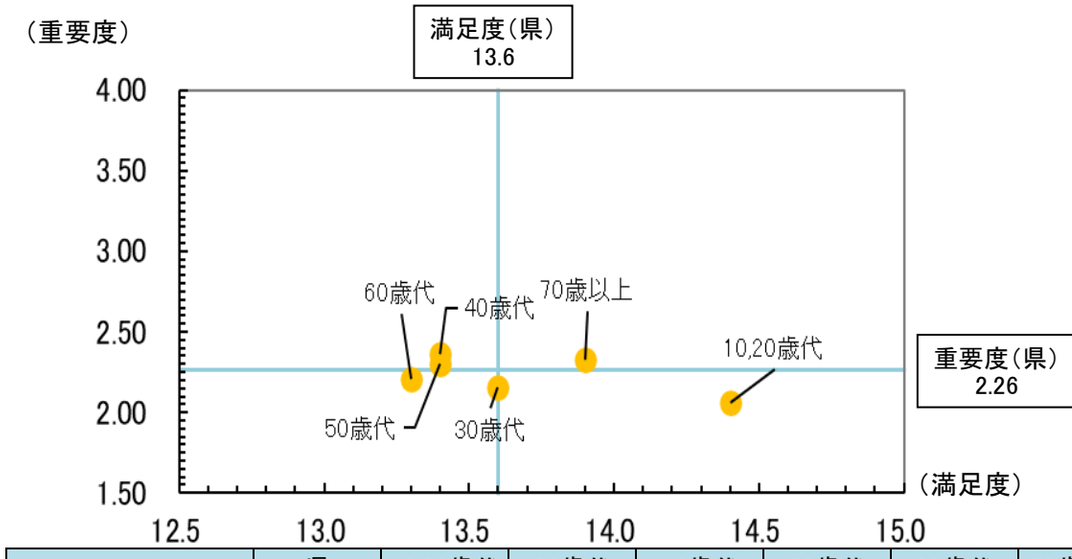
	県	10,20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	14.2	14.6	13.8	13.7	14.3	13.8	14.3
重要度	2.03	2.19	2.06	1.76	1.94	2.02	2.18

＜経済的なゆとり、心のゆとりがある＞



	県	10,20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	14.0	14.4	13.6	13.9	13.9	13.8	14.4
重要度	2.70	2.31	2.54	2.53	2.60	2.77	2.93

＜健康や生活環境面で将来に不安がない＞



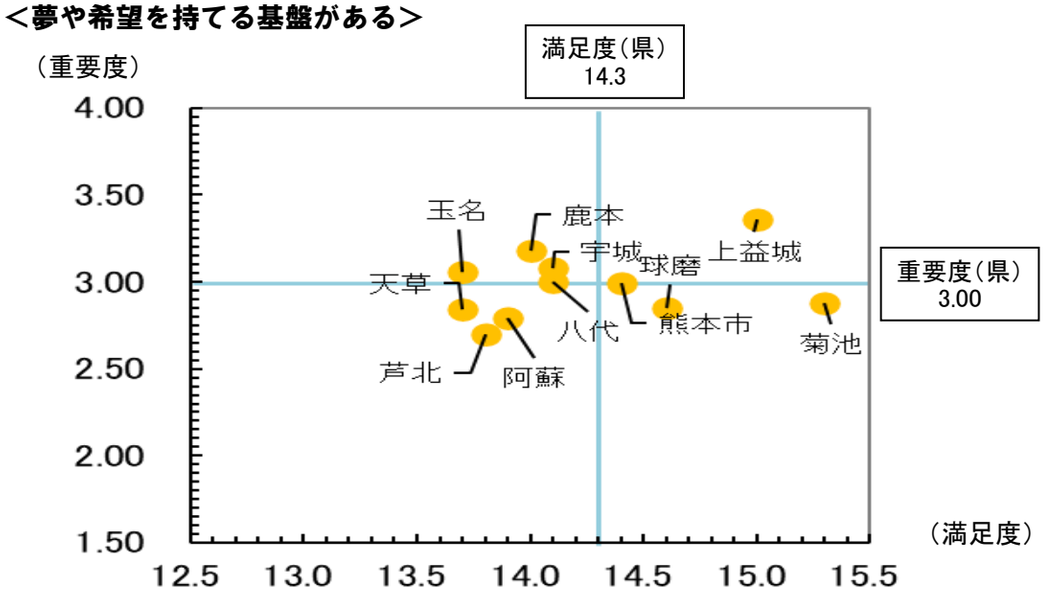
	県	10,20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足度	13.6	14.4	13.6	13.4	13.4	13.3	13.9
重要度	2.26	2.06	2.16	2.36	2.30	2.21	2.33

３．満足度と重要度の関係（Ｒ８）／地域別

※横軸：満足度／縦軸：重要度／青線：県全体値

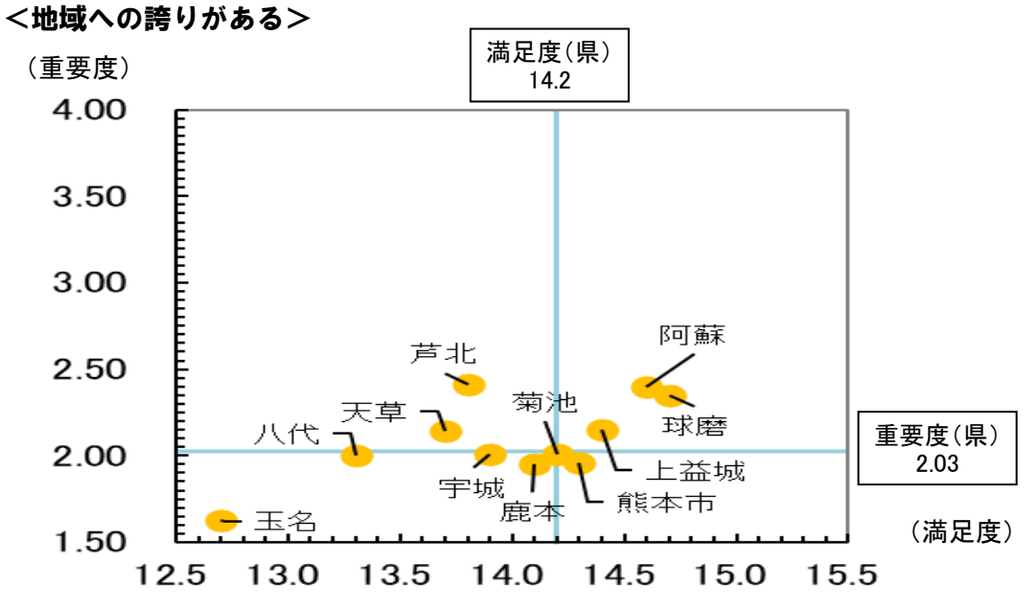
○　地域別の「しあわせ実感度」では、菊池が最も高く（74.3）、玉名が最も低くなっている（66.0）。
○　菊池地域は、「満足度」がどの項目についても高い傾向にある。
○　４つの分類いずれも「満足度」には地域差があり、県においても、地域の状況を捉えた施策展開が重要と考えられる。

＜夢や希望を持てる基盤がある＞



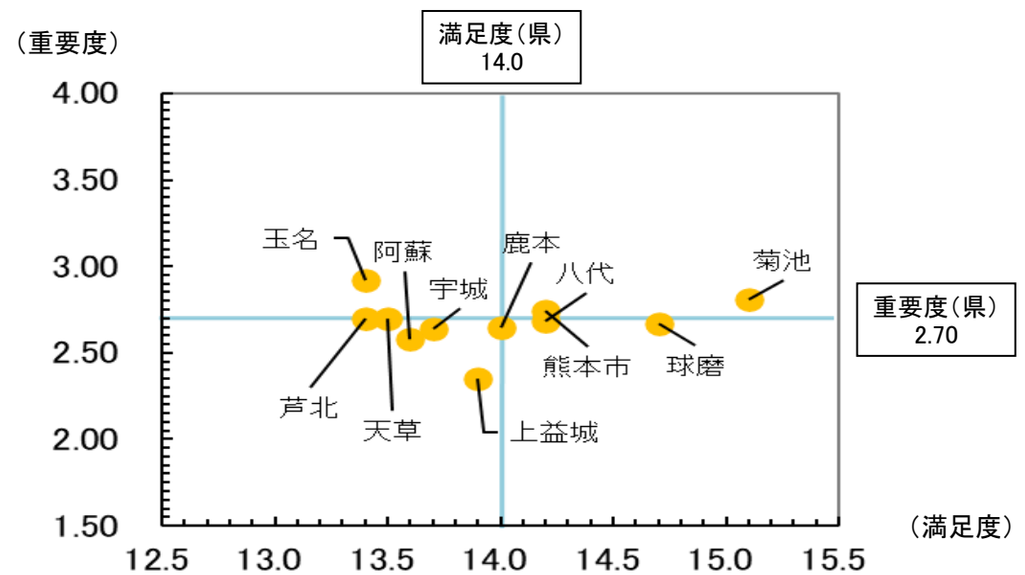
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	14.3	14.4	14.1	13.7	14.0	15.3	13.9	15.0	14.1	13.8	14.6	13.7
重要度	3.00	2.99	3.08	3.06	3.18	2.88	2.79	3.36	3.00	2.70	2.85	2.84

＜地域への誇りがある＞



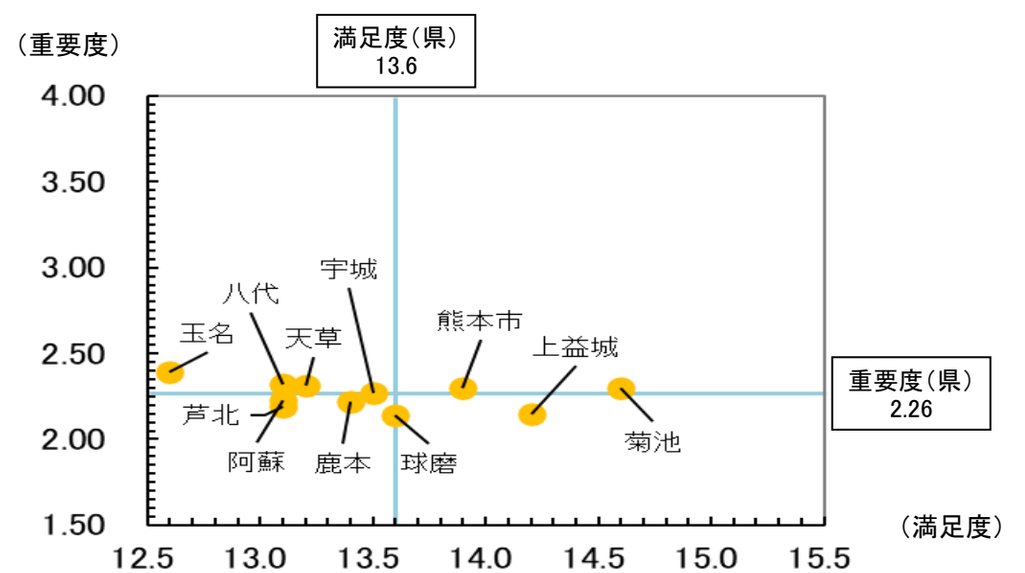
	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	14.2	14.3	13.9	12.7	14.1	14.2	14.6	14.4	13.3	13.8	14.7	13.7
重要度	2.03	1.96	2.01	1.63	1.95	2.01	2.40	2.15	2.00	2.41	2.35	2.14

＜経済的なゆとり、心のゆとりがある＞



	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	14.0	14.2	13.7	13.4	14.0	15.1	13.6	13.9	14.2	13.4	14.7	13.5
重要度	2.70	2.74	2.64	2.92	2.65	2.81	2.58	2.35	2.68	2.70	2.67	2.70

＜健康や生活環境面で将来に不安がない＞



	県	熊本市	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	13.6	13.9	13.5	12.6	13.4	14.6	13.1	14.2	13.1	13.1	13.6	13.2
重要度	2.26	2.30	2.27	2.39	2.22	2.30	2.23	2.15	2.32	2.19	2.14	2.31